

# 砂川市少年の主張大会

## 主張全文紹介④



### 優良賞「『ありがとう』を口癖に」

砂川中学校 2年 久保 柚月

「ありがとう。」

この言葉だけで、どれだけの人が喜んだり、助けられたりするのでしょうか。私は、全世界の人々の口癖が「ありがとう」になれば良いと思っています。

私は、人を目の前にしたり、目が合ったりすると恥ずかしくなってしまって、人見知りをしてしまいます。だから、感謝の思いを真剣に伝えようとしても、うまく思いが伝わらないのです。相手に向き合って言わなければ、自分の思いは伝わらないことは、承知の上なので、余計に情けないのです。

私は、これまでにたくさんの人に支えられ、助けられてきました。小学生のとき、一時期、自分にとってとても辛いときがありました。そのときに親身になって支えてくれたのが、友達や保健室の先生でした。私の話を聞いてくれたり、アドバイスをしてくれたりとおかげでつらい時期を乗り越えることができました。とてもありがたい経験でした。しかしながら、今思うと、しっかりと私の「ありがとう」という感謝の思いが相手に伝わっていたのか、なんだか心配で後悔の思いがあります。やはり「ありがとう」という言葉は、感謝したいそのときに伝えるべき言葉なのだと思うのです。

昨年、私は全国の作文コンクール最高賞を取らせていただきました。家に帰ると机の上に「柚月、全国一位おめでとう！」と、ノートに書かれていたのです。それほど親が喜んでくれたということに、私も嬉しくなりました。そのとき素直な気持ちで、「ありがとう。」と親に言葉を返すことができました。それから、友達、親戚、先生方など、たくさんの人が、「おめでとう、おめでとう。」と言ってくれました。感謝の気持ちで心がいっぱいになり、私は言われるたびに、「ありがとう、ありがとう。」と返すことができました。

「ありがとう。」と言えただけで、自分もすっきりすることができました。みんなも嬉しそうにうんうんと頷いてくれるので、私は温かい気持ちになりました。「ありがとう」は言われた相手も、言えた自分も嬉しくなって心が温まる魔法のような言葉なのです。

でも、思春期真っただ中の中学生は、私のように素直に感謝を言えない人が多いかもしれません。だからこそ、感謝の言葉「ありがとう」を伝え合う環境をみんなで作っていくことが大事です。まずは、自分が素直に相手に感謝する経験を積むことです。少しのことでも、すぐに「ありがとう。」と感謝を伝えていくのです。お互いに「ありがとう。」と伝え合える関係ができていけば、お互いに認め合い、尊重し合う関係を築くことができるのだと思います。私も「ありがとう。」と伝えるようになってきたおかげで、友達の輪も広がってきました。

今、世界に目を向けると、自分たちの利益のために戦争を行い、罪のない人たちの命を平気で奪っています。どんな理由があっても決して許されることではないし、人として絶対にしてはいけない行為です。

世界の人を一人一人として見たときに、必ずお互いを支え合う、優しさというものを、誰もが持ち合わせているはずで、世の中、異国の地で、困ったときに救いの手を差し伸べてくれたという話はよく聞きます。それが人というものではないのでしょうか。だからこそ、互いに尊敬し認め合い、感謝し合うべきだと思うのです。私は、感謝を伝える「ありがとう」という言葉には、世界中の人たちの絆を結ぶ大きな力があるのだと思うのです。

私が思う、全世界の人々の口癖が「ありがとう。」になれば良いと思う理由は、ここにあるのです。だからこそ、全世界の人々の口癖が「ありがとう。」になっていくよう、私も「ありがとう。」と感謝の言葉をたくさんの人に伝えていこうと思います。

#### 審査員の講評

世界中の人達の心が荒んだ今、「ありがとう」の感謝の気持ちを、皆にもってもらえると、穏やかな生活を送っていけるなと思いました。